



太陽系の激動を探り、宇宙に広がる文明を拓く

令和3年度における活動実績・成果の概要

[1. 組織形成] web (<http://aerospace.gp.tohoku.ac.jp/>) とtwitter (https://twitter.com/TohokuUniv_AIRC) で、部門・学内関係部局諸活動の情報交流・掲示・広報のインフラを構築。施設(超小型衛星運用アンテナ更新)・宇宙航空連携研究センターの概算要求に至る。国際集積エレクトロニクス研究開発センターの参加(スピントロニクス研究への宇宙航空分野への連結)も得た。

[2. シンポジウム] 2021年12月に本拠点第三回シンポジウムを開催。〈1〉宇宙生命科学フロンティアの開拓 〈2〉スピントロニクス半導体宇宙利用・超小型衛星開発戦略を軸に実施した。
(<https://aerospace.gp.tohoku.ac.jp/211204-aircsympo3/>)

[3. 教育・研究連携]

(1) **連携講義:** 学部横断(基礎ゼミ)、大学院横断(講義:学際研連結活動x1, シリーズ集中講義x1)で発展。

(2) **研究集会:** 惑星圏シンポ(2月)で太陽系全域探査と将来有人活動を目指す戦略議論を実施。秋に行うJAXA相模原会合と「年2回方式」が定着。超小型衛星教育プログラム全国化検討も東大・名大・神戸大・総研大と議論中。

(3) **DC院生特別支援:** 国際宇宙大学(ISTU)へのDC派遣支援。

(4) **学内横断プロジェクト:** 超小型衛星・宇宙ステーション実験「BioCube-SAT・BioCube-ISS」開発プロジェクトを実施中。学内複数部局のスタッフ・大学院生・学部学生を中軸に、学外研究者も巻き込む形で活動中。
(<https://w3.tohoku.ac.jp/frid/project/page-56/>)



プロジェクトメンバー 一覧: 2021年度
2021年4月2日更新

プロジェクト幹事

氏名	所属部局等・職	専門分野	参加期間
大井 寛 obayashi_AT_js.tohoku	法体科学研究所 教授(航空宇宙法体工学研究分野)	幹事・中心(法体工学)	2017-4
小池 隆博 oihara_AT_sparc.gp.tohoku	理学研究科 副研究員 東北アジア・大気研究センター 教授	事務局員・中心(地球惑星プラズマ物理)	2017-4
岩田 謙二 kiyohata_AT_sparc.gp.tohoku	理学研究科 東北アジア・大気研究センター 教授・センター長	A.惑星系探査部門・E(太陽系探査・惑星科学)	2017-4
高井 大輔 takai_hiroki_AT_tohoku	高度科学研究所(宇宙機システム研究分野) 教授 [SAS/JAXA 宇宙工学部・委員]	B.航空宇宙情報部門(宇宙航法システム)	2017-4
高谷 寛史 takahya_AT_tohoku	生命科学研究所(生命システム生命科学専攻) 教授	C.惑星生命探査部門(宇宙生命探査)	2017-4
佐藤 博之 sawamoto_hiroki_AT_tohoku	東北アジア研究センター 教授(基礎研究部門)	D.惑星系探査部門・CE(惑星地下探査)	2017-4
藤田 隆平 fujita_AT_plum.mech.tohoku	工学研究科(航空宇宙工学専攻) 教授	E.惑星系探査・インフラ部門(材料・構造システム)	2017-4

ヘッドクォーター(関係研究科/専攻、研究所、センター代表、対外代表)

氏名	所属部局等・職	専門分野	参加期間
飯山 正幸 iiyama_AT_astor.tohoku	理学研究科 天文学専攻 教授	A.惑星系探査部門(天文文学・観測天文学)	2017-4
中村 隆樹 nakanaka_AT_m.tohoku	理学研究科 地学専攻 教授	A.惑星系探査部門(惑星物質科学)	2017-4
山田 謙二 yamada_AT_pat.gp.tohoku	理学研究科 地球物理学専攻 教授(惑星大気) <JAXA宇宙科学研、客員教授> <日本惑星科学会 運営委>	A.惑星系探査部門・E(惑星大気圏化)	2017-11
加藤 謙人 kato_AT_sppp.gp.tohoku	理学研究科 地球物理学専攻 教授(宇宙地球物理学) <地球電磁気、地球惑星科学会 運営委>	A.惑星系探査部門・HD(地球惑星プラズマ物理)	2018-4
高田 和哉 yoshida_AT_astro.mech.tohoku	工学研究科 航空宇宙工学専攻 教授(スペーステクノロジー)	B.航空宇宙情報部門(宇宙ロボティクス)	2017-4

東北大・宇宙航空研究連携拠点 第三回シンポジウム
～宇宙生命科学フロンティアの開拓を目指して～
(社会にインパクトある研究 F-2「太陽系の激動を探り、宇宙に広がる文明を拓く」併催)

2021/12/4 (土) 13:30～17:40 (ZOOM開場: 13:00)

東北大および大学・学術機関に所属するスタッフ・大学院生・学部生、どなたでも可!

<<< 申し込み >>> 宇宙航空連携拠点web <http://aerospace.gp.tohoku.ac.jp/211204-aircsympo3/> → [申込ページ]へ

東北大の「宇宙航空の現場」map

2018年4月から、本学が主催する「宇宙航空の現場」の1つとして、「宇宙航空研究連携拠点」が先発しました。理学(地球プラズマ物理研究センター)、大気海洋宇宙機研究センターを含む)、工学・生命科学・医学・農学・教育学研究科、法体科学・金属材料・電気情報・多元物質研究所、東北アジア研究センターの代表となるワーキングチームが立ち立ちます。

本拠地は、「宇宙航空研究連携推進委員会」(2007年～)を母体と、宇宙航空の発展とその利用に資する東北大各局の連携組織として設置されたものです。

ポスターセッション (PDF) 研究発表 (PDF) 参加者名簿・メンバーリスト